

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

4月に実施される診療報酬改定を間近に控え、当法人の平成28年度予算等もまもなく完成する時期となりました。今回の改定は、参議院選挙を控えている影響からか、現時点では極端な大幅減収に繋がる情報はなく、安堵しております。

医療・介護業界においては、平成30年4月に控える診療報酬・介護報酬のダブル改定が今後の焦点となっていくでしょう。芙蓉会にとっての最大の関心事は、やはり介護療養病床の行く末です。サービス提供体制の新たな選択肢の整理案も議論され、その動向からも目が離せません。まずは厚生労働省の主催による「療養病床の在り方等に関する検討会」等からの情報を収集しつつ、ご利用者様側のニーズを第一に、今後の議論が進むことを期待したいところです。

さて、先日ある出版社から「私の逸品」を紹介して欲しいという取材を受け、私のお守りの存在でもある、先代会長・四ヶ所ヨシ（私の祖母）の生き様がつつられた「花と星と海と」という本をご紹介しました。先代会長については、法人内で実施する新入職員オリエンテーションでも毎回話し、芙蓉会の在り方をお伝えしていることもあり、この取材は、そういった意味でも大変良い機会となりました。早いもので、先代会長が亡くなってから6年が経ちますが、昨



年末にも、某月刊誌からこの本の内容を紹介したいとの依頼があり、今なお影響力のある祖母の存在を、誇らしく思っております。

改めて本の内容を振り返りますと、戦時中に従軍看護婦として戦地に赴き、激動の時代を生き抜いた祖母にとっては、各局面での判断一つひとつが生死に関わるものだったことが伝わってきます。その時代背景の中で、国のために命を賭して働いた高齢者に目を向け、「老人は国の宝」という理念を遺した祖母を改めて尊敬するとともに、その理念に恥じることがないように、芙蓉会の運営に、さらに尽力すべしと禱を絞め直した次第でありました。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

院長挨拶

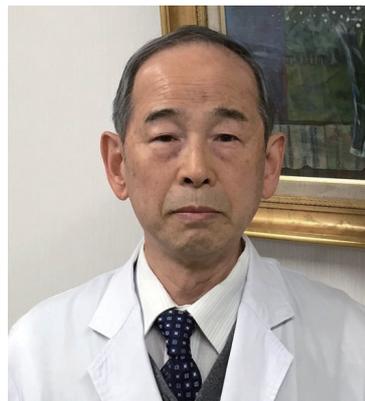
佐藤 勉 院長

落葉して実の熟した庭の柿の木は、渋柿なのに、餌が乏しくなったスズメやメジロなどが次々とついでに、ひと月足らずでヘタを残すだけになってしまった。さらに、大事にしていた万両の赤い実もいつの間にか食べられてしまう始末。小鳥たちも人間と同様、毎日を生きるのに懸命なのである。

さて、四年後の東京オリンピックの頃から、団塊の世代が後期高齢者に突入する、いわゆる「2025年問題」が起こる。マスコミでも喧伝され続けているが、それに対する国の施策は、心細い限りである。

昨年、本院の研修会で、私は近未来小説「七十才死亡法案・可決」垣屋美雨著・幻冬舎文庫を紹介しました。現代版「姥捨て山」というべきフィクションです。時代背景は2020年、超高齢化で国家財政が行き詰まり、年金制度・医療介護保険が崩壊寸前の日本。有能・辣腕のM総理大臣は、それまでの高い支持率と息のかかったマスコミをバックに以下の法案を強行採決してしまう。それは、「日本国籍を有する者は誰しも七十歳の誕生日から三十日以内に死ななければならない」というもの。この法案の実施で、国家財政の破綻は救われる。

このとんでもない法案をめぐる、国民は連日議論をぶつけ合っていたが、そのうちに、ある



噂が口コミで静かに広がる。それは、年金を返上したり、国へ多額の寄付をした者、熱心にボランティア活動をした者は、七十歳での死亡実施が延期されるというものであった。結果、半信半疑ながらも国に多くの献金が集まり、国家財政に余裕ができ、福祉予算の増額につながっていく。

そして二年後。いよいよ「七十歳死亡法案」実施が迫ったある日、はたしてM総理大臣は、テレビ演説で「この二年間、国民が真剣に討論した結果、多くの寄付が集まり、国民のボランティア活動が定着したことで、日本は福祉国家になる目途が立った。よってこの法案を廃案にする」と宣言したのだった。

現実に戻って、「2025年問題」を解決する起死回生の施策はあるのだろうか。ちなみに私は今年、73歳になる。

看護部より 看護部長 原子美保子

看護部は、以下の3つの柱を軸として、今年も安心・安全な看護をめざし、質の高いケアのご提供に努めます。

- ①感染症対策… 11月～3月は感染症対策強化月間として、ノロウイルスやインフルエンザの感染症拡大防止に向け、職員全員で対策の徹底に取り組んでいます。ご面会の皆様のご協力に感謝します。
- ②業務効率化… 働く環境や業務内容について、職員と共に検討しています。一人ひとりが意識を高く持ち、意見を出し合いながら取り組むことに意義があります。私共も、上がってきた意見への柔軟な対応を心がける所存です。
- ③人材の育成と確保… 職員のワークライフバランスを大切に、子育てや家庭の事情等にも配慮し、自分の生活設計を考えた働き方を応援していきます。



最後に、最近心に残った言葉をご紹介します。それは「4つの幸せ」という言葉。「してもらって幸せ」「自分でできる幸せ」「してあげる幸せ」「させていただく幸せ」。特に4番目の「させていただく」という幸せを感じられる人は良いですね。人の役に立てることや、自分が必要とされることの幸せ。それに気づいた時、仕事にも、やりがいや喜びが見つかるのかもしれませんが。そういう謙虚や気持ちをもち続けて、看護部一同、全力で患者様のケアに取り組んで参りたいと思います。

院内職員研修会報告「認知症について」

27年12月開催 発表者：佐藤院長

<内容>

1. 認知症の症状について
2. 純粋痴呆とは
3. 老年期うつ病と認知症の鑑別
4. 感情（情動）記憶について
5. 認知症の人の世界を理解する9大法則と1原則

<まとめ>

認知症ケアの基本は本人を理解することです。9大法則を学び、お一人おひとりに寄り添ったケアを心掛けるよう精進していきたいと思った。



認知症の理解を深める9大法則

- ①「記憶障害に関する法則」
- ②「症状の出現強度に関する法則」
- ③「自己有利の法則」
- ④「まだら症状の法則」
- ⑤「感情残像の法則」
- ⑥「こだわりの法則」
- ⑦「作用・反作用の法則」
- ⑧「認知症の理解可能性に関する法則」
- ⑨「衰弱の進行に関する法則」

介護に関する原則

「認知症の人が築いている世界を理解し尊重しましょう」

院内職員研修会報告「ロールプレイング」

28年1月開催 発表者：接遇委員会

<テーマ>

1. C2病棟 患者様のご家族の気持ちに寄り添う
2. C1病棟 気になるけれど、言えないこと

<場面設定>

1. 現在鼻空栄養の患者様に口から食べさせたいと望むご家族様への対応
2. 気になるシーンを再現し、口には出せない思いをナレーションで伝える

<グループワーク>

2つのロールプレイングを見て感想や意見を出し発表する

<意見、感想からの抜粋>

1. 医師の面談後に看護師が疑問を聞いていたのは良かった。
2. 面談に日程を決める際、先に家族の都合を聞いてから医師の時間を説明する方が良かった
3. 今までと違うパターンの発表の仕方で良かった。自分も知らず知らずのうちに同じような

行動をしているかもしれないので、振り返る事が出来て良かった。

<まとめ>

ロールプレイングをやる側も見る側も、当たり前を違う視点から客観的に見る事で、新たな気づきが生まれます。まずは、見方を変えていくところから改善につながるように努力していきます。



施設長挨拶

井上義之

早いもので、2016年も1か月が経過いたしました。おかげさまで、芙蓉ミオ・ファミリア町田が開設されてから、今年は10年という節目の年になります。これまで大きな事故もなく、順調に運営してこられたのも、皆様のご理解とご協力あつてのことと感謝しております。

超高齢化社会を迎え、高齢者の方が、住み慣れた地域で安心して生活し、生涯を全うできるように、医療や介護、保健や介護予防、生活支援サービスなどを行政や多職種が連携し、取り組むしくみ作り（地域包括ケア）が急ピッチで進められております。

この10年間の運営を通じて培ってまいりました経験とノウハウを活かしつつ、多種多様化するニーズへの対応として、急性期病院や他の介護保険施設、在宅サービス事業所の皆様方との連携を強化すること、また法人の信条「老人は国の宝」の考えに則り、新たな取り組みにチャレンジしていくことで、今後さらに地域と密着



した施設として貢献できるよう、より一層、努力精進してまいります。

今年も安心・安全を第一に、ご入居者様・ご家族様の心に寄り添い、笑顔があふれる施設として、日々穏やかに楽しく過ごしていただけるようサポートしていきたいと思っております。また、人生の大先輩であるご入居者の皆様から色々なことを学ばせていただき、自分自身の成長につなげていけたら素晴らしいと考えております。

新年

今年も皆様と、無事に穏やかな年明けを迎えることができました。

元旦の朝は、何かがいつもと違います。ご入居者様の表情も日頃より晴れやかに見えるように思います。昼食も、恒例とはいえ、一年に一回、今日だけのご馳走です。お酒を楽しまれる方、お節料理を眺める方、美味しそうにほおぼる方。昼食は2階のご入居者様も3階のご入居者様と一緒に、3階の食堂でワイワイガヤガヤ楽しく召し上がっていただきました。

午後は福笑いで初笑い、そしてカルタ取りでは白熱したひとときを過ごしました。

松の内に行われた餅つきでは、大きな臼と杵でぺったんぺったん。つきたてのお餅は、餡、きな粉、大根おろし、ごまといろいろなお味で楽しんでいただきました。

初詣は、風の冷たい日もありましたが、皆様と近くの熊野神社にお参りに行きました。皆様は何をお祈りされたのでしょうか？



魚の解体ショー

寒ブリの解体ショーが1月中旬に行われました。立派なブリが、軽妙なお話しとともに瞬間においしそうなお刺身に変身！10kg 超クラスのブリは、バイキング用にご用意していた刺身の舟盛りや、数々のお料理とともに、あつとい

う間にご入居者様のお腹に。冬になってからお食事の量が減り気味で心配されていた方が何度もおかわりしてくださって、スタッフから感激の声が上がる一幕も。旬のおいしさを豪快に味わえた、幸せなひとときでした。



お菓子バイキング

初めての試みとして、新スタイルのお菓子バイキングを楽しんでいただきました。今回は、「ケーキバイキング」ではなく、昔から老若男女に親しまれてきた「駄菓子」でのバイキング。ひとつずつ個包装されたさくらんぼ餅、うまい棒

やポテトフライ。駄菓子屋さんや、お祭りの夜店でおなじみの昔懐かしいものから初めて見るものまで「これはなあに」「あら、おいしいわ」と、どのテーブルからも子供の頃に帰ったような笑顔があふれていました。



節分

「鬼はそと～」「福はうち～」。鬼をめがけて威勢のよい掛け声と共に豆が一斉に投げられました。今年は鬼があつという間に降参。「福は内」

を望むご入居者の皆様に退治されてしまいました。退治された鬼と仲良く記念撮影。皆様は、福豆を歳の数だけ召し上がったのでしょうか？



茶話会

「2016年1月から芙蓉ミオ・ファミリア町田の珈琲、紅茶がよりおいしくなります」の予告どおり、1月から珈琲、紅茶がグレードアップしました。そして、今月から奇数月の茶話会には珈琲専門店のスタッフに、珈琲をサービスに来ていただける事になりました。

茶話会当日は、店長やお店のスタッフの方が早くから準備の為に御越しになり、茶話会の会

場作りから始まりました。かわいらしい会場がセットされコーヒーを淹れ始めると、会場内にコーヒーの香りが立ち込めました。普段はあまりコーヒーを召し上がらない方も香りに誘われ、おかわりをされる方もいらっしゃって、予想以上の反響でした。「和菓子に合うコーヒー」もあるという事を店長さんからうかがい、3月は「和菓子にコーヒー」の茶話会を予定しています。



バレエストレッチ

寒くて、ついこもりがちなのこの季節。「施設の中でも楽しくお過ごしいただけるように、何か新しいお楽しみを皆様にご提供できないか」というコンセプトで、いつもは歌を歌っている夕方4時、寒くて固まった冬の体をほぐすためにバレエストレッチの講師をお迎えしました。普段は宝塚受験を目指す受験生を教えていらっし

やる渡邊先生。座ったままでもバレエを楽しんでいると思っていただける動きはないかと、特別に動きを考えてレッスンしてくださいました。優雅にしなやかに流れるように・・・を目指して、ご入居者の皆様は真剣に取り組んでいらっしゃいました。音楽に乗ってのひとときは、お楽しみいただけましたでしょうか。



医療法人社団芙蓉会 **芙蓉ミオ・ファミリア町田**



見学随時受付中

〒194-0004 東京都町田市鶴間 544-2

TEL 042-788-3310 FAX 042-788-3312

ホーム長挨拶

盆子原一成

昨年10月より、くもん学習療法をホームのケアに取り入れました。

学習療法は、脳の前頭前野の血流を促して活性化させ、認知症の予防、改善を図り、意欲やQOLの向上も併せて期待できるものとして、全国1,700か所以上で実施されていますが、当ホームでも効果を感じた事例がさっそくありました。

Nさんは、自分の名前を上手く書けず、食事も全介助、発語も殆ど無い状態で他施設から移ってこられて1年半の方です。入居後、徐々に食事はご自分で召し上がり、発語、笑顔も増えましたが、半年前に小学生のお孫さんが来所された際は、残念ながらご自分の孫という認識が出来なかったようで、言葉も交わさず、笑顔も見せずで、お孫さんが寂しそうに帰られたことがありました。

そんなNさんに学習療法を実施させていただいたところ、私達スタッフの予想以上に、読むことや計算がおできになることが分かり、学習を進めて行くと、読むスピードは早く、発音もはっきりしてきて、ご自分の名前も今ではスラスラと書くことができるようになりました。笑



顔が見られることも多くなり、ご自分からの訴えも増え、効果が見えてきた先日、またお孫さんが来所されました。すると、どうなるかと見守るスタッフの心配がいらぬ程、Nさんは、ちゃんとお孫さんを認識され、終始笑顔で過ごされたのです。嬉しそうにしていたお孫さんは、「おじいちゃん！」と帰りがけに抱きついて帰られました。自分から立ち上がり、手を振るお孫さんを笑顔で見送るNさんの横で、私は涙が出そうでした。

にわのボランティア隊より

いつも「にわ」を観てくださり、ありがとうございます。私たち中庭ボランティア隊は、四季折々の花を皆様にお楽しみいただくことを目的に活動しています。活動の合言葉は「に和・に笑・に輪・にわづくり」。どうぞよろしくお願いします。

この時期のお花

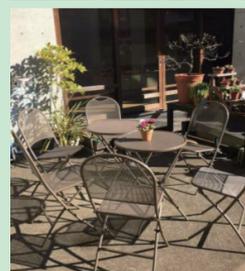
水仙、福寿草、チューリップ。日々その成長に変化を感じるようになってきました。寒さの中に、少しずつ春の訪れを感じます。

町田市花壇コンクール参加の屋上花壇も、あわせてぜひお楽しみください。

2、3月に楽しめる花々

- 水仙 ○福寿草 ○河津桜 ○桜草
- カランコエ ○紅梅 ○サンシュユ
- 桜 ○ポピー ○ビオラ

☆中庭のテーブルセットが新しくなりました。
陽だまりの特等席をお楽しみください



新春、初詣に行きました

天気の良い日を見計らって、皆様と熊野神社へ初詣に行ってきました。お神酒をいただいて、おみくじを引き、本年の皆様の健康とご多幸をご一緒にお祈りしてまいりました。



お餅つき

毎年恒例の、ボランティアの方々によるお餅つきを行いました。今年は、お隣のみオ・ファミリアからもたくさんのお客様をお迎えして大賑わい。つきたて熱々のお餅を、大根おろしやごま、きなこ、餡子につけていただきました。



医療法人社団芙蓉会 **グループホームあおぞら** ・見学随時受付中・



東京都町田市鶴間 544 (ふよう病院内)
TEL/FAX 042-795-2634
E-mail aozorafuyou@fuyou.or.jp
URL www.fuyou.or.jp/machida_aozora

室長挨拶

木原ひとみ

デイサービスふれあいルームは、介護保険が始まる以前からデイケアとして発足し、現在はデイサービスとして、引き続き 20 年近く皆様にご利用いただいております。

当初はこのような施設は少なく、ご利用希望者の皆様をお受けできず、空くのを待っていただくという事も多々ございましたが、現在は町田市内に 150 か所以上ものデイサービスができ、ご希望の皆様にはご利用いただきやすくなっております。多くのデイサービスがひしめき合う町田市の中で、当ふれあいルームを選んでいただいているご利用者様のために、創業者の「老人は国の宝」という精神を忘れず、人生の師という想いを持って励んでおります。

ふれあいルームでは、特別に何かに特化するという事ではなく、生活リハビリを中心に手足の運動をしたり、敷地内にあるグループホームの庭まで散歩に行ったり、花壇に花を植えて育てる楽しみを味わったりと、あくまでも普通の生活の延長のように、ご利用者様にご負担なくお過ごしいただけるよう心掛けております。

もちろんお楽しみも盛りだくさん。作業療法士の指導のもと、細かい作業を繰り返して皆様で作る作品作りはもちろん、毎月のイベントとして「ふれあいコンサート」「ハワイアンに合わせて体操」、奇数月のイベントとして「プロが淹れる本格コーヒー提供の茶話会」、その他にも季節に合わせたイベントやバイキングなど、多数



ご用意しております。また、昨年 10 月よりくもんの学習療法を取り入れ、ご希望者を対象に、簡単な計算や読み書きを行っております。こんな簡単なことで何かが変わるのかと思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、前頭前野に刺激を与え、認知症の予防やその改善に効果があるという医学的エビデンスのもとに実施されている学習療法で、1:1 か 1:2 という究極のプライベート対応という事もあり、皆様に喜んでいただいております。

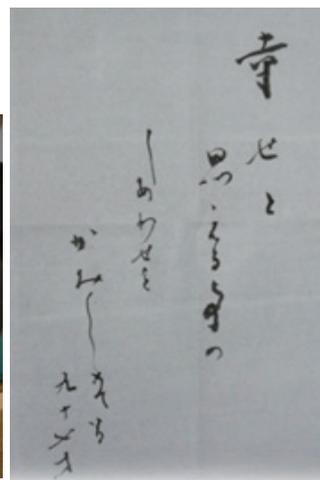
栄養士の献立で、家庭的で飽きないおいしさを追求したお食事は皆様にご好評です。今後も、何かに追われることなく、ご家庭のようにゆったりとしたお気持ちでお過ごしいただけるよう、また、ご利用者様だけでなく、ご家族様にも寄り添えるホームとして邁進して参ります。毎日のご送迎時やお電話などで、お気軽にお声を掛けていただければ幸いです。

イベント報告

今年も、皆様によりいっそう楽しんでいただけるよう、スタッフ一同楽しいイベントを企画しています。まず 1 月は「五感で感じるおいしい食事」をテーマに寒ブリの解体ショー、おでんバイキング、茶話会を開催しました。

書初め

新春にふさわしく書き初めを行いました。心静かに書と向き合うひと時。呼吸と筆を一体にして、皆様の筆運び、素晴らしかったです。



おさかな解体ショー&バイキング昼食会

ふれあいルームでは初めての企画となる「寒ブリ解体ショー&バイキング昼食会」を開催しました。

体長 1m重さ 11 kgもある氷見の寒ブリとともに調理師が入ってくると、皆様は大きな歓声と拍手でお出迎え。大きな包丁が、時に豪快に、時に繊細にお刺身を造っていく様子は壮観で、

皆様は前のめりになって、夢中でご覧になっていました。

できあがったお刺身は脂がキラキラ光って見るからにおいしそう。豪華な舟盛りと色とりどりの料理に満たされ、バイキングは大盛況でした。多くの皆様のご参加、ありがとうございました。



バイキング料理を一部ご紹介



おでんバイキング&茶話会

冬の定番といえばあつあつのおでん。よく味がしみ、とてもおいしいと好評でした。おでん種は、大根、さつま揚げ、はんぺん、結び昆布、ちくわ、ロールキャベツ、卵、こんにゃく、人参。梅じゃこご飯と一緒にいただきました。
※イベントは厨房スタッフと協力しながら行っております。



奇数月（第4木曜日開催予定）には、専門店から取り寄せたコーヒーで、香り豊かなティータイムをお楽しみいただけることになりました。コーヒーの香りは脳の働きを活性化させる効果もあると言われています。この日は部屋中コーヒーの香りであっけいになりました。



医療法人社団芙蓉会 **ふれあいルーム**

通所介護・認知症対応型 月～土 9:15～16:30
日曜日はお休みです

〒194-0004 東京都町田市鶴間 544-2
TEL 042-788-3302 FAX 042-788-3309

餅つき会

1月15日、3階フロアにて恒例の餅つきを行いました。蒸したてのアツアツの餅米が届き、3人の介護職員による餅つきが始まりました。

ご利用者様全員から「よいしょっ」という楽しそうなかけ声があがって、職員の餅取りや、合いの手も息が合います。伸びの良いお餅がつきあが

り、鏡餅を作りました。残りのお餅は、食事サービス部により、近々かき餅にしてご利用者様に提供させていただきました。

ちなみにその日のおやつは、お餅の雰囲気をも少しでも味わっていただければと、もちゼリーを使ったお汁粉を召し上がっていただきました。



院内職員研修会報告「身体にかかる圧の影響と対策」

28年1月開催 発行者：モルテン健康用品 藤田課長

通所リハビリ4階にて、外部講師（株モルテン健康用品事業部 藤田課長）による講義を受けました。内容は『身体にかかる圧の影響と対策』と題して体圧測定器をしながら安楽な姿勢を作り、負担の少ない介助方法が実演されました。

実際に利用者役の職員がベッドに横たわり、介護者役の職員が利用者の日常生活動作の状態に合わせたポジショニング・背抜き・圧抜きを

自分で考えながらポジショニングの修正を行いました。その結果はスクリーン上に映し出される体圧で一目瞭然。

日常生活動作に合わせたマットレスの選定・ポジショニング・背抜き・圧抜きの大切さが再確認することができ、今後の仕事に生かしていけると思います。

